

ゆがた議会だより

平成30年

第107号

10月26日発行

みんなで
交通ルールを
まもろうね！

表紙：交通安全パレード 9月14日実施

主な
内容

- ◆ 9月定例会提出議案審議 …………… P 2～5
- ◆ 一般質問（9議員が村政を問う） …… P 6～14
- ◆ 中央要望・議員研修 …………… P 15
- ◆ 議会の主な動き・編集後記 …………… P 16

借入金残高は 27億8584万円

9月 定例会

【平成29年度各会計の決算状況】※「墓地事業特別会計」分は「一般会計」に含んでおります。

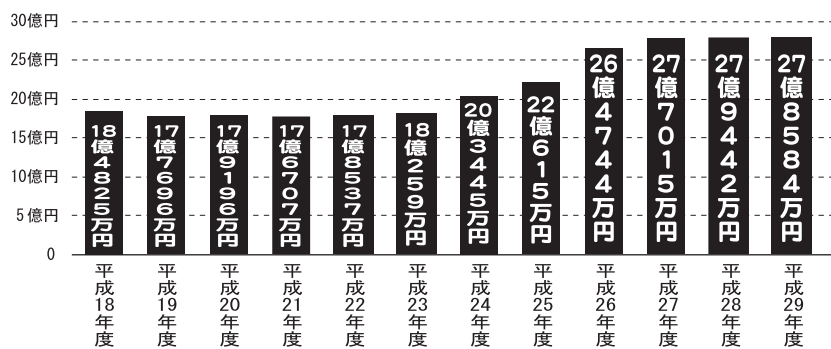
会 計 名	歳 入(A)	歳 出(B)	議決の内容
一 般 会 計 ① (対前年度比)	26億8823万円 (10.0%)	25億3792万円 (100.0%)	全員賛成により認定
特 別 会 計 ② (対前年度比)	10億6833万円 (105.9%)	10億3962万円 (108.6%)	
1 国民健康保険	4億5085万円 (98.6%)	4億3510万円 (99.3%)	全員賛成により認定
2 特定環境保全 公共下水道事業	1億1226万円 (104.0%)	1億1058万円 (104.4%)	全員賛成により認定
3 農業集落排水事業	5213万円 (98.2%)	5112万円 (98.5%)	全員賛成により認定
4 介護保険	4億1928万円 (104.8%)	4億0915万円 (105.0%)	全員賛成により認定
5 後期高齢者医療	3381万円 (107.4%)	3367万円 (107.7%)	全員賛成により認定
合 計 (① + ②)	37億5656万円 (13.4%)	35億7754万円 (100.6%)	

9月定例会が9月13日から21日までの9日間の会期で開催されました。村長から提案された平成29年度各会計の決算認定をはじめ、補正予算や過疎地域自立促進計画の変更、若者定住住宅建設整備工事請負契約、人事案件など、18件が審議され、すべて認定、可決、同意されました。

また、18日・19日・20日の3日間行われた一般質問には、9名が登壇し三澤村政について問いました。

ここが知りたい！

村債(借入金)の推移



監査意見

財政健全化に全力を



代表監査委員

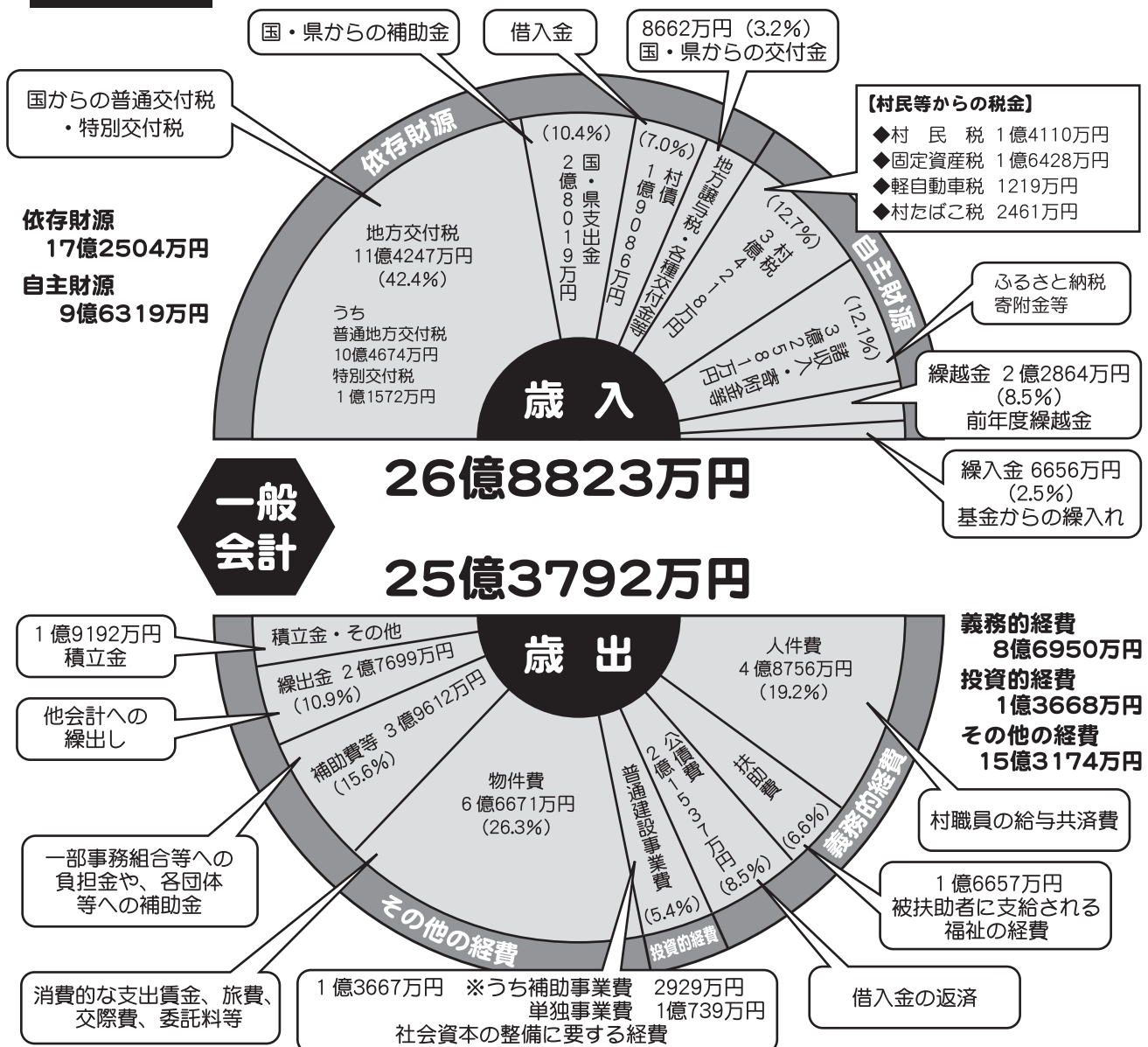
東条健一郎氏

各会計決算は、計数に誤りなく、証書等も整備され、会計経理はおおむね適正に執行されていた。経常収支比率は87.6%、財政力指数は0.257となっている。今後の地方財政は、税収入等の見通しが不透明な状況にあり、関係経費の増加などにより厳しい環境にある。

村内の多くの公共施設は、老朽化が進み、修繕や更新等の経費増加が予想されるため、財政計画、償還計画に基づき健全な財政の執行に努めるよう望むものである。交付税依存の財政運営にならないよう、自主財源の確保に努め、創意と工夫を凝らした効率的かつ効果的な予算執行を図り、将来に向け、安定した行政サービスが継続できるように更なる健全財政の運営を望むものである。

決算
審議

財政指標は「健全」



財政指標 平成29年度湯川村一般会計等健全化判断比率

	実質赤字 比 率	連結実績 赤字比率	実質公債費 比 率	将来負担 比 率	公営企業等におけ る資金不足比率
各財政指標の 解説	一般会計の赤字額 が標準財政規模に 占める割合	全会計の実質赤字 額が標準財政規模 に占める割合	全会計の償還額が 標準財政規模に占 める割合	将来一般会計から 負担されると想定 される金額等が標 準財政規模に占め る割合	資金不足の額が事 業規模に閉まる割 合
	※黒字のため 今回数値なし	※黒字のため 今回数値なし	※前年比△0.6%	※マイナスのため 今回数値なし	※黒字のため 今回数値なし
平成29年度	—	—	6.70%	—	—
平成28年度	—	—	6.10%	6.4	—
早期健全化 基 準	15.00%	20.00%	25.00%	350.00%	20.00%
財政再生 基 準	20.00%	35.00%	35.00%		

※標準財政規模 標準的な税収、地方交付税、地方譲与税等自由に使える財源の標準的な規模を示す。平成29年度の本村の標準財政規模は15億3939万円。

第524回 9月定例会に提案された18件の議案は、下記のとおりすべて原案可決(9件)、認定(7件)、同意(2件)されました。

**9月
定例会**

9月13日～21日

第524回 9月定例会における議員の賛否の公表

(湯川村議会基本条例第4条6項に基づき公表いたします。)

			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
議案 番号	件 名	賛否	佐 野 盛 至	片 桐 英 子	三 澤 榮 三	篠 竹 正 弘	斎 藤 賢 一	小 野 澄 雄	小 林 孝 一	小 野 淳 一	高 倉 好 博	菅 沼 弘 志
45	平成29年度湯川村一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
46	平成29年度湯川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
47	平成29年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
48	平成29年度湯川村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
49	平成29年度湯川村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
50	平成29年度湯川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
51	平成29年度湯川村墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
52	湯川村税条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
53	過疎地域自立促進計画の変更について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長
54	平成30年度湯川村一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
55	平成30年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
56	平成30年度湯川村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
57	平成30年度湯川村介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
58	平成30年度湯川村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
59	平成30年度湯川村墓地事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
60	若者定住住宅建設整備工事請負契約について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長
61	湯川村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	無記名投票の結果 賛成9票 反対0票									議長
62	特別功労者の表彰につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

*「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長裁決以外は「議長」と表記。

平成29年度における主要な施策の成果

- 湯川村農家応援(ふるさと納税事業)委託金 2億4840万円
- 道の駅指定管理料(うち会津坂下町が1/2負担) 1961万円
- 高校生冬期間通学支援金(112名) 168万円
- 高齢者タクシー利用料助成金(363名) 519万円
- 出産・就学祝助成金(56名) 265万円
- ふるさと納税事業に農家支援助成金(1000円/10a) 966万円
- 小型動力ポンプ軽積載車1台購入・車庫建築(八日町班) 1191万円
- 勝常小学校エアコン設置工事 3710万円



◀八日町消防ポンプ軽積載車



▲八日町消防ポンプ車庫

議案の主な内容

<議案第53号 過疎地域自立促進計画の変更について>

- ・「保育所増築事業」「子育て世代包括支援センター事業」「若者定住住宅集会所建設工事」などの新規事業を計画に追加するものです。
- 本議案は、6月定例会において、「佐野目地区かわまちづくり(第2期)計画」について、必然性、具体性に欠けるとの理由等から1対8で否決となったもので、今回は問題となった当該計画を削除したものが当局から上程され、8対1で可決となったものです。

<議案第61号 湯川村教育委員会委員の任命同意>

- ・目黒成美氏(石伏)が平成30年9月30日で任期満了となるため再任するものです。

<議案第60号 若者定住住宅建設整備工事請負契約について>

- ・湯川村若者定住住宅建設整備事業について、プレゼンテーション及びヒアリングを実施し、契約を結ぶものです。

事業概要	若者定住住宅建設 20戸 木造2階建 3LDK (91.91㎡)
選定業者	代表事業者 秋山ユアビス株式会社 グループ構成員 (有)吉田建築計画事務所、(有)桃季社 大和ハウス工業(株)福島支社
契約金額	4億3,308万円
工 期	平成32年10月17日



造成が進む下樽川地区の若者定住住宅

質疑あれこれ

質 公営住宅長寿命化計画の中にエアコンの常設計画はあるのか？

答 エアコンは個人対応と考える。

質 湯川村ここがふるさと交流事業(県サポート事業)が3年で修了したが今後の考えは？

答 ふるさと納税者であり、交流事業参加者105名のファンクラブを今後も大事にしていきたい。

質 若者定住住宅計画で、降雪対策、除雪対策は十分であるか？

答 十分に配慮していきたい。

質 高齢者対策として、集落公民館の玄関にスロープを設置すべきではないか？

答 課題として捉えさせていただく。

傍聴者よりひとこと



小林 淳輔さん
(下扇田)

9月議会を傍聴しました。新装された議場では議員の皆さんも活発に論議され、大変良かったと思う。

丁度入場した時に行われていた「道の駅経営に関わる裁判」についての質疑は核心に触れていた。村当局の丁寧な説明で、無責任な巷間伝聞されている話とは異なる事が理解できた。裁判は長引くと弁護士料が嵩むので示談にする事も念頭に置くべきかと思った。

次は「大相撲の合宿経費」について質疑なされた。そもそも村が招聘した件であるならば、村の活力・活性化にも繋がり、継続事業にする事も肝要な事と思われる。また、千賀ノ浦部屋には貴景勝を始めとする貴乃花部屋の力士が八名加わるとの事であり、来年の合宿出稽古に多くの力士が来村する事を今から要請しておくことも重要と思う。

噂話に翻弄され、また批判だけをするのではなく、自分で確かめる事も含め、是非議会を傍聴してはどうですか。そして自らが選んだ議員の活躍を拝見し激励することも大事だと思う。

村政を問う

一般質問

9月定例会

佐野 盛至
議員認知症の方のための
賠償保険制度創設を

問

徘徊中の事故に備え、認知症の人を対象に公費で民間の賠償保険に加入する制度を創設してはどうか。

答

村内の高齢者等の福祉見守り体制構築の取組みとあわせて調査研究していく。

異常気象による
災害対策について

問

村内での熱中症による事故は発生したのか。また、事故防止対策はどのようになつたのか。

答

村内での事故は1件あり、7月に畑作業中の高齢者が熱中症症状により救急搬送された。対策は、熱中症予防パンフレットの配布等により予防を呼びかけた。

【教育長答弁】

救急搬送などの事故の発

生件数は（教育委員会所管では）ない。具体的対策は、水筒の携帯を常用、給水時間の確保、屋外での遊びを規制、プールの中止（笈川小1回）、などである。

また、平成29年度には、勝常小にエアコン設置、今年度は、笈川小への設置工事を現在施工している。

問

中学校のエアコン設置も前倒しして実施するべきでは？

答

できるだけ早々に実施したい。



教室に設置された笈川小エアコン

問

高温と水不足での農作物等への影響はどうだったか。

答

7月25日に村渇水対策本部を設置し、村内農地を巡回し被害の確認調査を行った。現在までに収穫には影響がない。なお、今後は、ソフト面と、新たな整備としてハード面の強化等を考えていく。

問

旧簡易水道水源地の地下水を利活用してはどうか？

答

秋作業が終わったから調査研究していく。

問

西日本豪雨を受け、村防災体制強化の対応は？

答

村内全世帯へ「湯川村防災マップ」を配付し、浸水想定区域等の災害時危険エリアを周知した。防災行政無線の整備も平成32年度を目標に進めていく。

企業誘致について

問

村活性化のため商業地開発を早急に進める必要があると思うが？

答

村内開発には、農地法の転用許可も必要であり、動きが弱い。工業用地、事務所、店舗等は計画的な誘導に努めていく。

株式会社湯川会津坂
下の裁判について

問

6月の弁論準備手続以降の裁判の経緯及び内容、今後の予定は？大きな損害賠償金発生が予想される。

答

次回、10月10日の「第4回弁論準備手続」で、和解に関して方向性が見えてくると担当弁護士から伺っており、注視していく。

村政を問う

一般質問

9月定例会

高倉 好博
議員国土利用計画の
進捗状況について

問 優良農地を守ることを前提として計画は進められているか。

答 本村は、県内でも有数の良質米の産地として、食料生産の拡大と安定供給を図るために、今後、更新を検討している農業振興地域整備計画に基づいた農村生活環境等の整備を総合的に推進している。

同時に農地の流動化を促進し、担い手への利用集積を図り、優良農地の確保と農地の効率的な利用に努めている。また、不作付地などの低・未利用地については、有効利用を促進していく。

問 村活性化のため箕川・勝常の概念を取り払い、湯川村全域をひとつと考え開発に努めているか？

答 昭和32年に箕川村と勝常村が合併し、

すでに合併から60年が経過しており、地域の区分を設けず、村域を一体的に見た土地利用を推進する計画で進めている。

問 会津縦貫北道路湯川・C周辺は民間主体の商業地開発になっているが、現在の動きは？

答 湯川南インターチェンジ周辺農地は、優良農地が広がり、農業振興地域整備計画の農用地に指定されており、かつ、開発には、農地法の転用許可も必要であることから、計画策定から、現時点の段階では動きがない。今後、周辺地域をも含めて事前に十分な調査と調整を行い、地域住民の意向に配慮するとともに、村土の保全と安全性の確保、調整池や排水路等周辺環境の保全等に配慮しつつ、適正な土地利用の転換に努めていく。

問 若者定住のためにも工業用地は必要と

考えるが？

答 生業が大切で、情報収集に力を入れて

農業経営の安定対策
について

問 減反政策廃止初年度の村への影響は？農業振興の新たな考えは？

答 備蓄米等の取り組みを推進しながら生産者の方へお願いをしてきた。主食用米作付面積が目安を4haほど超過しており、来



今年から始まった会津湯川ファームの刈り取り作業

年に向けた新たな取り組みについて検討し対応していく。

公民館の
在り方について

問 公民館は地域のコミュニティ形成のための核となる施設と考えるが、公民館の果たす役割についての認識は？

【教育長答弁】

答 公民館は、老若男女すべての地域住民の皆さんの「生きがいづくり」を助長するための社会教育活動を推進する拠点施設であり、人づくり・地域づくりを行うところであると考えている。

問 公民館の設備に不備はないか？

答 だいが不備もあり、有料で使用していただくものなので、快適に使用してもらうために完璧にする必要がある。

村政を問う

一般質問

9月定例会

片桐 英子
議員放課後児童クラブ等
のおやつについて

問

第513回平成28
年12月定例会で「お

やつも食育の一環であると
充分理解しており、例えば
カロリーを表示し、保護者
がどういうおやつを食べた
かわかるようにしたが、今
後これでいいとは思ってい
ない」と答弁しているが、
どのように検討されたか？

【教育長答弁】

答

「手作りおやつ别提
供ができないか」と
検討したが、様々な問題が
あり、現在の状態で運営し
ている。化学調味料などの
添加物を使用したおやつは
極力控え、本物を食する機
会を多くつくるべきとの、
ご指摘については、当然の
ことと認識しており、「食
事の大切さ」「正しい栄養
の取り方」そして、本物の
味を小さい内から覚えさせ
たいと思っている。そのた

めにも、学校や村栄養技師
と協力して「食育」に努め
ていきたい。



きゅうりの板ずり作り（きゅうりも立派なおやつです）

読書環境の
整備について

問

現在の書架はユー
スピアゆがわの玄関

ホールに設置され閲覧や読
書、又は学生が自主学習す
るには不向きである。また、
閉館時間が一定せず、担当
者も不在の時があり利用し

にくい状況だが、どのよう
に対処すべきと考えるか？

答

現在の図書スペー
スでは大変手狭であ

り、管理体制も不十分であ
る。今後は、財政負担の関
係で村当局との話し合い、
学校図書整備充実や近隣
町村の図書施設利用の斡旋
新しい施設の建設など、ハ
ード・ソフト両面について
色々な選択肢を考慮しなが
ら湯川村における図書環境
の整備については、慎重に
検討していく。

問

学校図書館司書設
置についての検討は

どこまでされたか？

答

学校司書配置の必
要性は、十分に認識

しており、今後は、要綱の
見直しを行い、司書資格者
の確保や配置日数など、さ
らに細部にわたり精査しな
がら、予算の確保が可能か
どうか、また、教育委員会

全体としての財政計画を十
分に考慮しながら総合的に
判断していきたい。

18歳以下インフルエ
ンザ予防接種助成に
ついて

問

18歳以下予防接種
を医療機関窓口で半

額で受けられるような助成
制度を実施すべきと考える
がどうか？

答

18歳以下のインフ
ルエンザ予防接種は、

「任意接種」であり、医師
会で統一した料金を定める
ことができないものであり、
村が各病院、各医院と個別
に料金を定め実施すること
は現実的に難しい現状であ
るが、子育て支援に繋がる
保護者の利便性向上の取組
みとあわせて、他市町村で
の先進的な事業が行われて
いるか等を注視し、今後の
事業推進の参考とさせてい
ただたい。

村政を問う

一般質問

9月定例会

三澤 榮三
議員道の駅の民事裁判と
その責任について

問

8月15日付けで「会津ジャーナル」誌に

「道の駅あいづ」がテナントとトラブルで裁判に！」と大きく取り上げられた。裁判費用も多くなると思うが、村としてはどのような対応を考えているか？

答

株式会社湯川会津坂下では、①賃料等の条件、②使用面積、③物販販売の問題の是正について、協議を進めたが、テクニカルスタッフでは、「当時の代表取締役の了承を得ていた。」などと強く主張するのみで合意に至らず、「明渡請求訴訟」を行っている。現在は、和解を前提とした非公開の協議の場である「弁論準備手続」が進められている。次回、10月10日の「第4回弁論準備手続」で和解に関して方向性が見えてくると担当弁護士から伺っている。

問

裁判に係る経費はどこで負担しているのか？道の駅の決算書のどこに記載されているのか？

答

着手金、裁判費用、弁護士事務所経費は道の駅が支払っている。記載については調べてお知らせする。

意見

和解金に公的費用を投入することがないよう十分村として監視していつてほしい。

大相撲夏合宿について

問

今回の合宿の相乗効果を示せ。

答

合宿中は、湯川村児童クラブ利用の児童や湯川幼稚園児が力士との交流会、介護予防事業3集落（熊川・上扇田・上樽川）への同行等、貴重な体験が出来た。

また、「力士とのふれあい感謝デー」を開催し、力

問

今後の政策についてどのように生かしていくのか。

答

千賀ノ浦部屋「夏合宿」を誘致・企画・実施することによって、ボランティア団体の育成、各種団体が一体となり、「おいしい米、豊かな風土、みんなで創ろう 笑顔あふれる 湯川村」の実現をめざす協力体制の確立を図りたい。

問

農業法人と今後の村の対応について

（株）会津湯川ファームが設立されたが、

農家間等のトラブルを防ぐためにもきめ細かい規則等をつくっておく必要があると認められる。村としてはどう対処していくか？

答

村、村農業委員会、会津湯川ファーム、JA、地域担い手農家等の関係者が情報共有・協議等を行う場を定期的に設け、マニュアルの作成も検討し農業の発展に寄与できるように推進していきたい。



JA西側に設置された農業法人会津湯川ファーム事務所

村政を問う

一般質問

9月定例会

篠竹 正弘
議員福祉サービスの
向上について**問**

住民課では、今年4月から係を新設し組織体制を新たにしたが、相談窓口として地域包括支援センターや保健センターと分散されていないか、その場合の対応は？

答

役場庁舎と村保健センターの二つの場所で行う体制だが、どちらも住民課内の組織であり、隣接しており、相談内容に応じて、各担当との情報共有を随時行っており、スムーズな情報連携、協力体制の構築を図ることができている。

問

保健センターが別事務所にあることで福祉係、保健係との連携は充分であるか。住民の利便性、安心を考えれば、福祉、保健、保健センター係の総

合保健福祉センター等の分庁舎の考えはあるか。

答

住民課の体制は現状が最善という考えではなく、引き続き現状の人員、環境のなかで課題解決を図り、住民目線を基本として最善のサービスを行っていききたい。

問

庁舎内に相談室が2部屋あるが、天井がなくプライバシーの配慮に不向きではないか？

答

部屋を使用する場合は周囲に声が漏れないよう「ミーティングルーム」、「応接室」、「会議室」、「小会議室」を使用し対応している。住民の方のプライバシーに十分配慮し、相談しやすい職員対応、来庁しやすい雰囲気づくりに努めていく。

問

社会福祉協議会で「生活支援体制整備事業」が始まり、単身世帯の家族からは食事や買い物心配と聞く。この事業の村の取り組みは？

答

村では、湯川村社会福祉協議会へ委託し、調整役である生活支援コーディネーターを1名配置し、協議体立ち上げに向けた検討会を開催、平成30年3月に協議体「さすけね会」を発足させ、月1回の活動を高齢者コミセンで行っている。

村では生活支援コーディネーターと「さすけね会」の助け合い、支え合いを広げる活動により、介護保険制度における新しい取組みである互助を中心とした地域づくりが推進されることに期待している。

情報伝達の
需要について**問**

防災行政無線整備について、どのようにお考えか？

答

防災行政無線は、「市町村デジタル同報系無線」というものが、他と比較しコスト面での負担が少ないことから、平成32年度までにこの方法による防災行政無線の整備を進める方針を固めたところである。



V-Lowマルチメディア放送の防災ラジオ

村政を問う

一般質問

9月定例会

小野 淳一
議員農業委員と農地利用
最適化推進委員の役
割について

問

農地利用最適化推進委員として今現在どのような仕事を行っているのか？

議決権の有無以外は
同様の役割を担う

答

平成28年4月1日に改正農業委員会法が施行され、農業委員会に「農地利用最適化推進委員」を新たに設置し、平成29年7月からは、農業委員8名と推進委員7名による、新たな農業委員会の体制に移行したところである。

農業委員と推進委員の主な役割の違いについては、農業委員にのみ総会の議決権があることを除き、基本的には同様の役割を担っていたにいたっている。推進委員の具体的な活動としては、毎月開催される定例総会や全員協議会に出席し、定例

総会では、許可決定の際に意見等を述べるとともに、全員協議会では、毎月の活動状況の報告や各議題に対する意見交換を行っている。また、農業委員と推進委員が2人1組となり、現地で農地等の状況の確認を行っている他、農業者の意向等を把握するため、各農業者宅を訪問し、「農地利用聞き取り調査」を行っている。

問

推進員としてどのような会議を実施し、農業施策に関するどのような意見が出ているのか？

答

毎月、定例総会及び全員協議会を開催し、農業委員及び推進委員全員が出席しており、関係機関が開催する会議にも積極的に参加し、知識の習得や資質向上に努めている。農業施策に関して出された主な意見としては、風評払拭に関する取り組みの強

化や、共有農地等に対する利用権設定の要件緩和等を希望する意見が出されており、農業委員会では、引き続き、各委員の意見を要望等に反映させていきたいと考えている。

問

推進委員は村内の農地を巡回しているのか？浜崎、勝常、佐野など、少し見ただけで荒れている農地がかなりある。荒れ方が深刻な集落もある。そういったところに推進委員が仲介に入り、地権者に対して農地の荒れを解消す



農地パトロールをする農業委員と推進委員

るよう積極的に活動すべきと考えるがどうか？

答

村内では畑の荒れが散見されているので、その有効利用も検討していきたい。また、推進委員の活動については、なお一層強化していきたい。

問

村の農地をきれいにするのが推進委員の役割ではないか？

答

より良い方向になるよう関係機関と協力していきたい。

問

村に農業法人ができたのだから、荒れた土地は法人で実施するようをお願いしたい。

答

畑の荒廃も含め農業法人の大きな役割と考えている。推進委員より話ができれば、法人として役割を果たしていきたい。

【副村長答弁】

村政を問う

一般質問

9月定例会

齋藤 賢一
議員

公文書・データの管理体制と情報の発信について

問 文書・情報管理体制の重要性が問われているが、文書管理について、現段階での問題点はあるか？

答 本年度研修会を実施した。昨今の中央省庁の文書トラブルを鑑みると、本村としても今後、他自治体の状況を注視しながら対応して行きたい。

問 データの容量が近年膨大になっているが、今後整理する対策は講じているのか？

答 村としてはサーバー増設の際に「ファイルの保存方法」に規則制をもたせるよう10月中旬頃から「文書分類表」による整理・保管を行うこととした。

問 本村のホームページの充実の為に今年度予算化した効果が？

答 高齢者や視覚障がい者が、ホームページの情報や機能を支障なく利用できるように「音声読み上げソフト」に対応したデザインなどを検討している。

【教育長答弁】
各小中学校のホームページを10月の開設を目途に現在作業を進めている。

住民の生命財産を守る行政の支援体制について

問 相続・介護・土地・近隣住民とのトラブル・お墓など様々な問題を解決に導くための課ごとの情報共有化体制は？

答 相談内容により他課に渡る対応が必要な場合は、毎週1回の課長会など随時スムーズな情報連携、情報共有による協力体制の構築を図り、適切な問題解決に努めている。

【教育長答弁】
4S（誠意、スピード感、組織的、終末確認）対応に

心がけている。

将来を担う人材育成の支援策・私塾との連携について

問 民間の塾との連携や退職した先生方との支援により村営塾を開講できないか？

答 今年の中学3年生では23人中10名が4月時点で塾に通っており、2学期以降はもっと増えるとのことであった。村営塾の必要性、希望者、開設場所や講師、財政問題など、総合的かつ継続的な運営が

問 高校を卒業した若者の帰村率はどの程度か。若者に対するアンケート調査は実施しているのか。

答 今年の成人式出席者34名へのアンケートの結果、将来湯川村に戻ってくる予定の人は、現住者も含め20人で、約6割の人が帰村を希望している。一方、4割の人は、仕事の関係で戻らないと答えており、帰村率には、就労先が大きく影響していることが改めて認識できた。

<県内他市町村の取組状況>

市町村名	項目	内容
葛尾村 (村営塾)	放課後学習指導	毎週火曜日～金曜日に私塾の文系・理系の講師が中学生(1年～3年生)に通年指導
泉崎村	放課後学習指導	毎週水曜日に私塾の講師が中学生(3年生)に通年指導
郡山市	夏休み期間	5時間×7日間限定で小学生・中学生に希望者対象へ指導
矢吹町	夏休み期間	9時～12時の5日間、小6・中学生を対象に指導
古殿町	放課後講習会	中学受験生を対象に週2回、講習会を実施
中島村	現在計画中	
鮫川村	現在計画中	

各自自治体とも私塾と連携し、子ども達の学力向上に努めています。湯川村でも高校受験対策として中学3年生を対象に村営塾を開講することは可能であると考えます。
特に英語・数学2科目の塾指導は今後の学力向上につながります。

村政を問う

一般質問

9月定例会

小野 澄雄
議員

今年の豪雨・渇水の状況を踏まえ、行政としての役割と取り組みについて

問 湯川村における洪水・渇水の認識について

近年の異常気象は、いつ・何処で・何が起きても不思議ではない状況である。本村は大きな災害にはほとんど見舞われてない恵まれた土地柄であるが、7月の西日本豪雨被害地である倉敷市の真備町も、本村と地形的にも大変類似している。治水を中心としたハードとソフトを統合的に推進すべきと考えるが如何か。

災害と最小限に食い止めるのが使命

答 行政の役割は、多種多様な災害を想定し、住民の安全・安心を第一に考え、地域防災計画や災害関係規定を常にアップデートしながら周知に努めなければならないと考える。また、災害を最小限に食い止めることが役割と考えている。

意見

危険箇所等をパトロールするためにも、堤防の上面の草刈りの実施を。また、弱小堤防の改修を要請。さらに、情報の収集・発信、地域の協力体制づくりを進めていただきたい。

渇水に対する恒久対策について

問 分水ゲートの適正管理と水路管理の問題は？

農業の大規模化、高齢化が、水路管理に支障をきたし、洪水・渇水に影響を及ぼす要因の一つとなっている。土地改良区にだけ任せるのではなく、行政としても対策支援が必要と考えるか。

渇水対策本部で検討している

答 渇水対策本部において、「渇水対策方針」を定めて対応したいと

考えており、第一に重要視すべきは、人的部分である。農業用水に精通した人員の選任や各集落までの間を監視・管理できる専門委員の選任等について、依頼しているところである。

問 補助用水として、旧簡易水道水源地の活用、旧湯川からの揚水計画を望む

実現可能か検討

答 会津中央土地改良区と旧簡易水道水源地の活用や旧湯川からの揚水について、実施可能か否かについて検討している。



補助用水として活用を調査する
旧簡易水道水源

意見

毎年、農業用水の絶対量が不足を生じている。村が事業主体となり、水源地を活用する県営灌漑排水事業の実施をお願いしたい。

財政の健全化について

問 公共施設改修と大型事業実施が、健全財政に及ぼす影響について

個別計画の検討を含め財政計画を作成する

答 公共施設の将来的な改修等に充当するため、「湯川村公共施設等整備基金条例」を設け、積立を実施している。また、若者定住促進事業や大型事業を実施するにおいては、経済状況を把握し、住民サービスを下下させず「最小の経費で最大の効果」が得られるよう、財政計画を作成し、なお一層努力を重ねていく。

村政を問う

一般質問

9月定例会

小林 孝一
議員

干ばつ時の農業用水の確保について

問 湯川村に流入する三水系（会津中央、戸の口、会津東部）の対策と被害の発生は？

現時点で被害は確認されていない

答 今回渇水が1番深刻だった会津中央土地改良区は、7月25日に村内の輪番分水調整を開始し、同月30日に改良区全体の輪番分水調整へと移行しながら渇水に対する運用を行っていたが、8月上旬に南会津地方への降雨等が数回あり大川ダムの貯水量がある程度確保されたため、最終的には8月13日に輪番分水調整の解除がされた。

なお、被害は現時点においては確認されていない。

問 農家支援策の内容はどのように考えているか？

答 新たに「湯川村緊急渇水対策事業補助金」を創設し、個人の農家や土地改良区が実施する渇水対策の取組みに係る経費について一部を補助することと決定し、今回の補正予算で計上した。内容は、揚水ポンプの購入費、リース料、燃料費、井戸の掘削に関する経費等に対して3分の1の補助とした。

問 農業用水確保は農業にとって最重要課題であり、今後安定した米作りのできるよう恒久対策を農業支援の課題としてとらえるべきではないか？

答 ハード部分の対策として、補助用水としての旧水源地の活用や旧湯川からの揚水等についても、現在、会津中央土地改良区と実施可能かについて検討しているが、水利権の問題や国営事業の計画変更等の必要が生じ、ハードル

が高いくところである。恒久化対策を農業支援の課題と捉えながら、引き続き、様々な対策について検討していきたい。

佐野目地区
かわまちづくり計画

問 事業計画の概要について説明せよ

答 阿賀川河川敷公園の北側に、4つのエリアを整備するとしており、

①水辺に親しむ「親水広場・カヌー乗り場」②スケートパーク等を整備する「ストリートスポーツエリア」③バーベキューや芋煮会を行える「アウトドアアクティビティエリア」④動物と親しむ「ドッグランエリア」が予定されている。

問 川とはどのような役割・機能を有するべきと考えるか？

答 川は、大雨を安全に海まで流す「治水機能」、農業用水や水道用水に利用する「利水機能」、人々に潤いを与え、自然の一部として生き物を育む「環境機能」の3つの役割がある。

住民の生命や安全を守る上でも、川の「治水機能」は何よりも大切であり、河川堆積土砂の撤去や河川支障木の伐採などについて、関係機関に強く求めていく。



かわまちづくり整備 完成予想図

広報広聴委員会 山形県は川西町への研修を終えて

広報広聴委員長 高倉 好博

去る8月29日・30日とダリヤ園でも有名な山形県は川西町へ広報委員会として視察研修をしてきました。まさに全国レベルで何度も全国の広報誌コンクールに入賞している広報活動には驚きを隠せませんでした。

まず作成にあたって、「字体は統一する」「一番感心のあるものから、見出しは大きく」「町民参加の記事をできるだけ多く」等、いろんな面で徹底されていました。

今回の研修は、お互いに意見を出し合いながら「村民・町民に読んで



活発に意見交換した川西町での研修

もらえるにはどうしたらいいのか」を話し合い、接点を見つけてことができました。

違いのなさは肌で感じてきたので、『いいところどり』をしながら、村民の皆様「次回の広報誌が楽しみだね」と言われるような湯川村独自の広報誌作りを今後していきたいと思っています。

経常任委員会活動報告

経常任委員長 篠竹 正弘

経常任委員会では雨量不足による村内渇水状況調査を、8月10日に会津中央土地改良区佐藤理事長、佐藤事務局長同行の元、現地調査を行いました。

当時は、大川ダムの貯水量が不足している状態であり、本村にくる門田幹線を中心に馬越頭首工から分水施設、末端施設までの渇水状況を調査しました。

今後の対策として、輪番通水体制の実施、マンパワーによる用排水路の管理調整の強化・徹底、用水不足個所における排水路等への揚水機設置が必要となります。中でも北田地区等末端エリア付近の対策、旧村水

源地の活用等が重要となります。旧湯川からの暫定の臨時水利権確保も検討の余地があり、今後の対策について十分注視していく必要があると感じました。



分水ゲートを確認する委員

中央要望活動報告

総務文教常任委員長 小林 孝一

9月5日に、東京・霞が関の農林水産副大臣 磯崎 洋輔氏をはじめ農水省幹部及び地元選出国会議員へ要望書を提出してきました。

要望の内容は、

①『原発事故による農畜産物の風評被害対策について』

②『農業者の経営所得対策について』の2点で、米の全袋検査や販売強化に向け、国による財政支援を継続す

るよう強く求めてきました。議会としては「風評は改善傾向ではあるが、福島県の農産物への風評被害は続いている。今後もひと押し二押しの支援は必要」とし、全額賠償の継続を求めました。米をはじめとした農産物輸出の拡大に向けた規制撤廃と緩和措置対策も訴えました。また、米の直接支払交付金（7500円/10a）の廃止を受け、所得安定対策の拡充や恒久化についても要請しました。



磯崎農林水産副大臣へ要望書を渡す高倉副議長ら
議員団・隣は菅家一郎衆議院議員

湯川村議会の主な動き

- 7月10日 大坂北部地震義援金寄託
 12日 会津縦貫道整備促進に係る平成30年度中央要望
 13日 第17回両沼地方町村議会議員交流事業（会津坂下町）
 16日 第23回ゆがわ村芸能発表会
 18日 青少年育成村民会議
 22日 相馬市長立谷秀清氏全国市長会長就任祝賀会
 24日 株式会社会津湯川ファーム設立式
 暴力団根絶会津坂下地区町村議会総会（会津坂下町）
 西会津町議会総務常任委員会行政視察
 27日 国道118号会津若松バイパス等3同盟連合総会
 議会だより（第106号）発刊
 29日 福島県消防操法大会両沼地方予選会大会
 日橋川川の祭典・花火大会
 31日 東北横断自動車道いわき・新潟線等建設促進
 期成同盟会合同大会（東京都）
 8月1日 第52回全会津商工観光推進大会（昭和村）
 2日 議会全員協議会
 15日 成人式
 17日 国民民主党移動政調会
 19日 大相撲千賀ノ浦部屋歓迎式並びに
 ゆがわ2018夏まつり開始式
 22日～23日 町村議会正副議長・事務局長研修会（福島市）
 23日 堂後遺跡村内関係者現地説明会
 24日 「会津縦貫道」整備促進に係る平成30年度福島県要望
 25日 自民党時局講演会並びに森まさこ国政報告会（坂下）
 28日～29日 両沼町村議会議長行政調査（新潟県・佐渡市）
 29日～30日 広報広聴委員会視察研修（山形県・川西町）
 30日 第12回市町村対抗福島県軟式野球大会結団式
 9月2日 村民運動会【写真】
 3日 議会運営委員会・議会全員協議会
 5日～6日 中央省庁及び国会議員要望活動
 11日 第15回グラウンドゴルフ大会【写真】
 13日 第524回湯川村議会定例会
 14日 交通安全パレード
 16日 敬老会
 29日 ゆがわ幼稚園運動会
 10月2日 会津・野岩両鉄道経営計画（案）事前説明会（坂下）
 会津産業ネットワークフォーラム設立10周年記念式典
 7日 新米祭
 11日 市町村ソフトボール大会結団式【写真】
 13日 福島県立坂下高等学校創立70周年
 記念式典
 14日 新鶴ワイン祭り（会津美里町）
 17日 ふるさと納税第一便出発式



村民運動会



グラウンドゴルフ大会



ソフトボール大会結団式

第8回 村民と議会の意見交換会を開催

日時 11月25日（日）
午前10時～

場所 ユースピアゆがわ
（多目的ホール）

※詳細については後日チラシを
配布いたします。

編集後記

今、日本では何が起こっているんだろう。大阪での地震災害から始まり、西日本豪雨災害、北海道での地震災害、追い打ちをかけるように各地区で暴れまわった台風による被害と、正に災害続きの日が続いています。

我が湯川村を見てみれば、今まさに黄金色に染まった風景は庄巻そのもので湯川村の誇れる風景だと思っています。今年から農業法人「会津湯川ファーム」が設立され刈り取り作業から始動し、湯川米の収穫作業が行われています。

ふるさと納税に係る件数も順調に進んで今年もおいしい湯川米を届けることができそうです。

まずは今年も何事もなく収穫できることに感謝です。（高倉 好博）

議会広報広聴委員会

片三篠 小 高
桐澤竹 委 林 副 倉 委員
英榮正 員 孝 員 長
子三弘 一 博